

## 第16回真鶴町地域公共交通会議概要

日時：平成30年9月20日（火）13：30～14：45

場所：真鶴町町民センター第2会議室

出席者：委員20名（欠席1名、〇〇委員）

傍聴者：1名

### 1 開会

### 2 議題

#### （1）公共交通利用促進事業について

資料1 事務局説明。

今野委員・・・真鶴町民が、仮に箱根登山バスの湯河原方面のバスに乗車した際の取り扱いについて確認したい。

事務局・・・（お配りした）チラシに記載がないが、路線バスについては真鶴駅～ケーブル真鶴線に限定することで考えており、箱根登山バスの路線バスについては利用できない設定としたい。なお、チラシに注釈を加えたい。

上甲委員・・・割引チケットを本人以外が使用することの可否について確認したい。

事務局・・・不可とすることで考えている。チケットには通し番号を印字する。月1回とりまとめを行う中で不正利用が疑われる場合には、調査を実施したいと考えている。

津田委員・・・1乗車当たりの（チケットの）利用制限は設けるのか。また、手続期間が平成31年3月31日までとなっているが、使用期間も同日限りということによろしいか。

事務局・・・タクシーでの利用だと初乗りで800円近い運賃になる。そのような観点から利用枚数の上限は設けない。また、手続期間と試用期間は同じく平成31年3月31日までとしている。

岡村会長・・・タクシーで町外へ出る場合は、どのような扱いとなるのか。

事務局・・・利用可能ということで考えている。

岡村会長・・・バスは路線限定だが、タクシーについては、タクシー2社の営業区域というか、このタクシーを呼ぶのであれば使えるということか。

事務局・・・そのように取り扱う。

#### （2）新たなバス停の設置について

資料2について事務局説明。

岡村会長・・・警察との協議はどのようになっているのか。

事務局・・・申請手続きや協議はこれから進める。

三木委員・・・高齢者の利用が多いことを考えると、できれば、短い距離で設置してもらおうということで、これには賛成する。

岡村会長・・・この場所で設置をするということで、鋭意、手続き進めるということによろしいか。

—異議無し—

### (3) コミュニティバス利用者アンケート調査結果について

資料3について事務局説明。

- 三木委員・・・以前より路線バスの最終便が早まった結果、特に高齢者の買い物の便が悪くなった。16時～17時ころに買い物に行きたいという需要が高いが、今はバスで行けない。また、平日は6時台発で通勤者が利用しているが、土日祝日については8時45分発までない。またいまのダイヤになったことで、JRを利用するのに杖をついて歩いていく高齢者もいる。そういったことを考慮しながら検討してもらいたい。
- 菅野課長・・・この後の議題にも関連するが、利便性に課題が生じたことを埋める方策として、デマンド交通の実証実験を企画している。
- 町民の皆さんにご不便掛けない、少しでも交通の空白地域をなくしたいというところで、来年の3月までには様々な意見を取りまとめた中で、実証実験を含めて来年度からは、さらにより良いものにしていきたいと考えている。
- 岡村会長・・・必要とされていると思われる時間帯にバスを運行するという事は、様々なやりくりをしていく必要がある。本数を増やすということは、この会議の委員のみなさんは理解されていると思うが、それだけお金がかかるということになる。本数が2倍になり、経費が2倍になったとしても乗客が2倍とはなりにくい。この厳しい状況を地域のみなさんによく考えていただく必要があると思う。

### (4) デマンド交通実証実験について

資料4について事務局説明。

- 津田委員・・・真鶴町が考える公共交通空白地域は既存の公共交通手段がある地点からどの程度の範囲を考えているのか、また既存バスルートに乗降ポイントが設けられているように見受けられるが、それぞれの見解を伺いたい。
- 事務局・・・公共交通空白地域について国の基準は認識しているが、急な坂道や傾斜地（細街路）が多い真鶴町では一律で基準にのっとりというのは難しいと考えている。但し旧・コミュニティバス（10人乗りワゴン車）を町直営で走らせていたころのエリアにおいて代替手段に対するニーズは存在しており、今回実証実験という形で運行したい。また、乗降ポイントについて、ゾーンの乗車場所については、あくまでも既存バス沿線には乗降ポイントを置かない方針である。
- 〇〇委員・・・この乗降ポイントについては、しっかり、ここというふうには決まってないということでは、よいか。要は、駐停車禁止場所の有無等を確認して今後調整してもらいたい。
- 〇〇委員・・・運賃400円均一というのは1人400円で、2人乗れば400円、400円で800円ということで、よろしいか。また、利用当日の予約ということだが、何時間前まで予約可能か。
- 事務局・・・運賃は何人乗っても1人1乗車あたり400円としたい。また予約の締め切り時間は現在検討中である。今回の実証実験は予約制とすることが事業の核になる部分と考えて

いる。

中村委員・・・買い物等に行くのに狭い道が多いところを利用する方が多いと思うが、帰りにバスがなければお願いするような形になると思う。そうすると、例えば買い物中、その車が待ってはもらえないだろう。そうしたときは、事前に2回、予約を入れとくという形になるのか。

事務局・・・行きと帰りの分を事前に予約していただく必要がある。

小堤委員・・・既存路線バスへの影響を十分考慮の上、慎重な検討を願いたい。

このデマンド交通実証実験について次回の会議で提案して、皆様のご意見を頂きたい。

岡村会長・・・それぞれ異議なしでよろしいでしょうか

－異議無し－

#### (5) 今後のスケジュールについて

事務局から資料5を説明。

－異議無し－

3 その他 次回の会議は11月頃を予定している。

4 閉会